



中学生議会

10月24日(火)、太地町議会議場において、中学生議会が行われました。

3年生の生徒が議長や議員となり、議会の進行や、町執行部に対し質問を行いました。

質問の内容は様々で、「雨天時の駅伝大会の対応について」、「じゅんかんバスの料金について」、「道の駅の駐車場について」等が挙げられました。

目次

トピックス	2
お知らせ	3
住民福祉課便り	4
くじらの博物館便り	6
保健衛生関係行事予定	8



10/11(水) 「ふれあいネット」調印式

太地町福祉センター「椰」において、小地域ネットワーク活動「ふれあいネット」事業調印式が行われました。

「ふれあいネット」事業は、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、近隣のネットワーク事業を通して、地域で見守りが必要な人を見守り、必要な福祉サービスにつなげていくものです。

太地町では平成18年に「ふれあいネット」を立ち上げていますが、今一度見直しを行い、本事業のより一層の強化を図ります。

関係機関、事業所、団体等、今回協定を結んだのは24団体です。

10/23(月) 掛け軸寄贈

太地町役場において、古座川町にお住まいの山崎守雄様、史子様より、鯨絵画お軸一幅を寄贈していただきました。

ありがとうございました。



11/5(日) 太地浦くじら祭

太地漁港ふれあい広場において、第32回くじら祭が開催されました。

祭は、ゆるキャラ聖火リレーから始まりました。

ステージでは、姉妹都市白馬村や都市間交流を行っている大阪市浪速区によるPR、ライブステージやバルーンアート、セリ、フラダンス、ものまねショーといった催しや、こども園の子ども達による踊り、舞踊、獅子舞、太鼓等の伝統芸能が披露されました。また、太地浦を巡る漁船パレードも大盛況でした。

会場には、様々な企業や団体、市町村の特産品ブースが立ち並び、来場者は各地のグルメに舌鼓を打っていました。

太地町 生き生き情報コーナー

お知らせ

自衛官（学生）等募集案内

受検種目	応募資格	受付	試験日	試験会場
自衛官候補生	18歳以上 27歳未満の男子	平成 29 年 12 月 15 日まで	平成 29 年 12 月 16 日(土)	自衛隊和歌山地本(和歌山市)
高等工科学学校生徒	男子で中卒(見込含) 17歳未満の者	平成 30 年 1 月 9 日まで	1次 平成 30 年 1 月 20 日(土)	田辺市民総合センター
貸費学生	現在、大学 3・4 年次又は大学院に在学の方 ※条件有、細部はお問い合わせ下さい。	平成 30 年 1 月 9 日まで	平成 30 年 1 月 27 日(土)	全国主要都市 ※ 54,000 円 / 月、 防衛省から学資金が貸与されます。

【説明会のご案内】 試験内容、待遇、給与、福利厚生 etc. 就職や転職または大学進学等をご検討の方は、ご活用ください。

12 月 3 日（日）09：00～12：00 自衛隊新宮地域事務所（新宮高校正門前）電話：21-3449

お知らせ

被害相談窓口のご案内

犯罪被害にあわれた方やご家族は、直接の被害に加え、その後も精神的・社会的・経済的に深刻な被害を受けることが多く、再び平穏な生活を取り戻すためには、周囲の理解と配慮に基づく協力が重要です。

ひとりでお悩みではありませんか。犯罪による被害のご相談を受けています。

◎和歌山県警ホームページ

<http://www.police.pref.wakayama.lg.jp/>

◎総合相談電話（和歌山県警察本部）

短縮ダイヤル # 9110 通常ダイヤル 073-432-0110

◎性犯罪被害相談電話（和歌山県警察本部）

短縮ダイヤル # 8103（ハートさん） 通常ダイヤル 073-423-1150

◎公益社団法人紀の国被害者支援センター

相談電話 073-427-1000

月曜～金曜日 / 午前 10 時～午後 4 時 土曜日 / 午後 1 時～午後 4 時

お知らせ

映画「おクジラさま ふたつの正義の物語」上映のお知らせ

映画「おクジラさま ふたつの正義の物語」が、ジストシネマ南紀店にて上映されています。

上映期間は、12 月 8 日（金）までです。

お知らせ

ハンギングバスケット教室参加者募集

「和歌山県花を愛する県民の集い」では、以下のとおりハンギングバスケット教室を開催します。
日 時 平成 30 年 1 月 26 日（金）・27 日（土）13:00～15:00 ※ 26 日は経験者向け、27 日は初心者向けの教室です。

場 所 東牟婁振興局（新宮市緑ヶ丘 2 丁目 4-8）

定 員 各 30 名（申込多数の場合は抽選）

対 象 県内に在住若しくは通勤・就学されている方

申込期間 12 月 18 日（月）9:30～12 月 22 日（金）17:00（必着）

参 加 費 26 日 2,000 円 / 27 日 1,000 円

上記以外にも、県内各地で開催します。開催場所によって申込期間等が異なりますので、ご注意ください。

詳しくはホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/news/hanaai.html>

若しくは県庁県民生活課（073-441-2598）へお問い合わせください。



住民福祉課だより

後期高齢者医療制度に加入のみなさまへ

健康診査は受けられましたか。

健康診査は平成 30 年 2 月末日まで受けることができます。

受診券をお持ちの方で、まだ健康診査を受けていない方はこの機会に是非ご自身の健康状態をチェックしましょう。

○健康診査

■対象者 75 歳以上の方、65 歳以上 75 歳未満で一定の障害認定を受けられた方

■検査項目 問診、計測、診察、脂質、肝機能、尿、腎機能、代謝系

■実施場所 受診券と同封している実施医療機関一覧に記載されている医療機関

■費用 無料

○歯科健康診査

※対象の方には 5 月末に受診券等を発送しています。

■対象者 平成 29 年 3 月末で 75 歳、80 歳、85 歳の方と 90 歳以上の方

■検査項目 問診、口腔内検査、口腔機能検査

■実施場所 受診券と同封している実施医療機関一覧に記載されている医療機関

■費用 無料

○受診券等の紛失やご不明な点があれば、下記までお問い合わせ下さい。

〒 640 - 8137

和歌山市吹上 2 丁目 1 番 22 号

和歌山県後期高齢者医療広域連合

電話 073 - 428 - 6688

PCB 含有電気機器の期限内処理について

有害な PCB を含む電気機器（変圧器、コンデンサ、家庭用を除く照明用安定器など）

は処理期限が定められています。（高濃度 PCB：平成 33 年 3 月末まで、低濃度 PCB：平成 39 年 3 月まで）。

事業所内の PCB：平成 39 年 3 月含有電気機器等の有無を再点検の上、期限内の処理をお願いします。

後期高齢者医療制度に加入されているみなさまへ

11月下旬から12月上旬にかけ、ジェネリック医薬品を使用した場合、1ヶ月の自己負担額が200円以上軽減される可能性がある方を対象に

ジェネリック医薬品使用促進のお知らせを送付しています

患者負担の軽減や医療保険財政の改善には、ジェネリック医薬品の普及が重要です。
この機会に、ジェネリック医薬品の使用をご検討下さい。

このお知らせは、現在処方を受けているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に自己負担額が軽減できることをお伝えするもので、切り替えを強制するものではありません。

お薬によっては、ジェネリック医薬品への切り替えができない場合もあります。切り替えを希望される方は、かかりつけの医師又は薬剤師にご相談下さい。

【お問い合わせ先】

後発医薬品利用差額通知コールセンター

フリーダイヤル 0120-53-0006（通話無料）

和歌山県後期高齢者医療広域連合

和歌山市吹上2丁目1番22号 日赤会館9階

電話 073-428-6688

認知症サポーター養成講座を開催しました

11月1日に「^{なご}」にて、太地町社会福祉協議会主催のくらし応援団養成講座第1回が催されました。講座では「高齢者と認知症の理解について」をテーマに、認知症の人とその家族を地域で支える「認知症サポーター養成講座」を行い、31名の方に受講していただきました。講座では、地域包括支援センターや住民福祉課職員による講話や、日常生活を舞台にした寸劇を通して、認知症についての理解を深めてもらったり、認知症の人や家族の気持ちや接し方を考えてもらいました。

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。講座を通じて認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り応援していくボランティアのことです。たとえば、友人や家族にその知識を伝えたり、商店・交通機関・まちで働く人として、できる範囲で手助けをするなど、活動内容は人それぞれです。この講座は全国の市町村で展開されています。平成29年11月1日現在で、太地町の認知症サポーター受講者数は237人となりました。





土佐では赤水押の勢子舟と持双舟に乗る若い羽差(はざし)が海に飛び込んで手形を切る。
「第貳鯨網罟二種ルノ圖」西山実和筆、室戸市教育委員会所蔵

土佐室戸から熊野太地へ伝わった技術

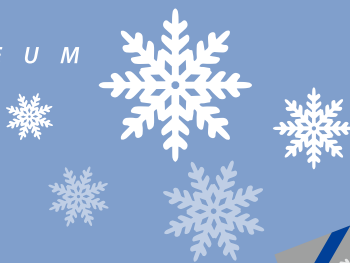
Technic Introduced from Muroto to Taiji

クジラに網を絡めて、身動きを封じてから鉾を打つ方法が紀州熊野の太地組から土佐の津呂組に伝えられたのが天和三年(1683)、さらに浮津組も網取法を採用したのが貞享二年(1685)のことでした。以後土佐の鯨組は、それまで見逃していたザトウクジラなど、動きが早く、死後に海底に沈む確率が高い鯨種も捕らえることができるようになったといえます。

寛永初年(1624)頃、津呂の庄屋であった多田五郎右衛門は、土佐藩主山内康豊から海上防備の命を受けました。五郎右衛門は、捕鯨の利益で水夫を養うと同時に水軍の訓練にもなると考え、十三艘からなる鯨組を編成して鉾でクジラを突き捕るようになりました。多田五郎右衛門の捕鯨はいったん止みましたが、その子である吉左衛門が事業を再興しました。彼こそが、

太地で二年間に渡って水夫として働くなかで機会を得て、太地組宰領の太地角右衛門頼治から網取り法を授かった人物です。

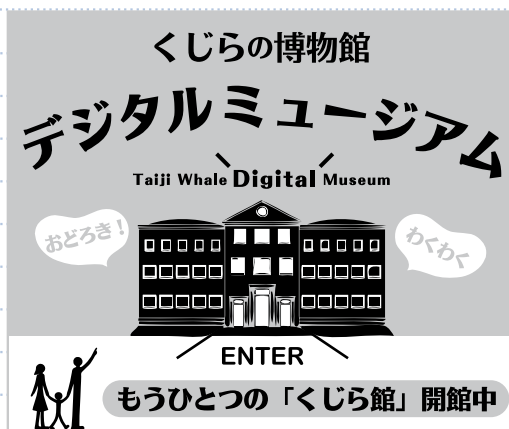
『室戸岬町史』によると、吉左衛門は角右衛門から網取り法を伝授されただけでなく、角右衛門に対して、太地の網取り法の改良すべき点を上申しています。太地ではしばしばクジラを舟に縛り付けることに失敗して海に沈めてしまうことがあったといえます。吉左衛門は、その原因が太地の水夫の泳ぎ方にあると考え、太地の網取り法を教わる代わりに、室戸の水泳技術を太地の鯨捕りたちに伝授しました。捕鯨技術の改良が進んだことで、室戸と太地の捕鯨は以後発展することになったのです。



くじらの博物館 デジタルミュージアムが開館しました！

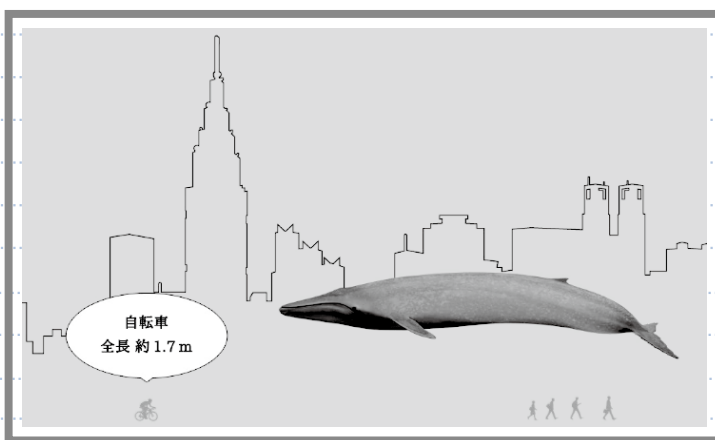
今回は、「くじらの博物館デジタルミュージアム（以下、デジタルミュージアム）」についてご紹介します。このデジタルミュージアムは2017年4月に、インターネット上に存在する「架空の博物館」として開館しました。

世界中の様々な海で暮らすクジラたち。その生活は今も多くの謎に包まれています。そして、そんなクジラと太地の人々は古くから関わりをもって暮らしてきました。デジタルミュージアムは、謎多きふしぎな生き物であるクジラの魅力、そしてそのクジラと深く関わってきた太地の歴史や文化を広くたくさんの人々に知ってもらうためにつくられたデジタルコンテンツなのです。



▲くじらの博物館デジタルミュージアム バナー
<https://kujira-digital-museum.com/>

「クジラは何を食べているの?」、「クジラの出している音ってどんな音?」、「町の中に連れ出したらどれくらいの大きさになるんだろう...」。そんな疑問をお持ちになったら、ぜひデジタルミュージアムの扉を叩いてください。デジタルミュージアムは、くじらの博物館のホームページからどなたでも無料で閲覧できます。内容は、クジラの生態について学ぶ「ECOLOGY」と、捕鯨の文化や歴史について学ぶ「HISTORY」の大きく2つに分かれていて、利用者はクリック一つで知りたい情報を手にすることができます。いくつかのコンテンツをご紹介します。「ECOLOGY」のカテゴリーには、地球上最大の哺乳類といわれるシロナガスク



▲「クジラの大きくらべ」のコンテンツ画面（一部）

ジラを町やサバンナや海に連れていき、建物や他の動物との大きくらべのシュミレーションができる「クジラの大きくらべ」やクジラたちの出す音が聞ける「鳴音図鑑」、博物館で飼育されているクジラたちの食べ物をゲームを通して考える「くじら食堂」などがあります。そして、「HISTORY」のカテゴリーでは、貴重な捕鯨絵巻を拡大したり、縮小したりしながらみることができる「絵巻アーカイブ」やクジラのヒゲや歯がどのようなものに活用されていたかを紹介する「クジラと私たちの暮らし」などが楽しめます。

デジタルミュージアムは、海外からの利用を想定した言語の切替(英語/日本語)や、子どもや高齢者の利用を想定した直感的な操作性の追求などの工夫をしています。これは、くじらの博物館が目指す「誰もが楽しめる博物館づくり」の理念に基づくものです。動画や音源、ゲーム性のあるコンテンツなど楽しみながら学習できる仕組みがたくさんあるデジタルミュージアムは、事前学習や事後学習だけでなく、調べ学習など学校での利用にも十分活用して頂けるのではないかと考えています。スマートホンにも対応していますので、ぜひ一度皆さんの手元から身近に「博物館体験」をさせてみてはいかがでしょうか。

※くじらの博物館デジタルミュージアムは、平成28年度地方創生加速化交付金事業の一環として作成したものです。(2017年4月運営)

December 2017

《保健衛生関係 12 月行事予定》

	事業名	時間	場所
12 月 6 日 (水)	ちびっ子ひろば	9:30 ~ 11:00	ふれあいルーム
12 月 13 日 (水)	ちびっ子ひろば	9:30 ~ 11:00	榎

※ 12 月 13 日 (水) のちびっ子ひろばは、事前に申し込みが必要となります。対象者には通知を送付しています。

健康相談

	事業名	時間	場所
12 月 11 日 (月)	成人健康相談 (血圧測定)	15:00 ~ 15:30	森浦集会所
12 月 13 日 (水)	成人健康相談 (血圧測定)	10:30 ~ 11:30	公民館
		13:00 ~ 13:30	平見集会所
		13:45 ~ 14:15	老人憩の家
		14:30 ~ 15:00	寄水集会所
12 月 20 日 (水)	乳幼児健康相談	10:00 ~ 11:30	多目的センター

健康教育

	事業名	時間	場所
12 月 4 日 (月)	なかよし体操	13:30 ~ 15:00	東新集会所
12 月 18 日 (月)			
12 月 11 日 (月)	なかよし体操	13:30 ~ 15:00	森浦集会所
12 月 25 日 (月)			

健診

	事業名	時間	場所
12 月 7 日 (木)	10 か月児健診	9:00 ~ 9:10 (受付)	那智勝浦町福祉健康センター
12 月 21 日 (木)	4 か月児健診	9:00 ~ 9:10 (受付)	那智勝浦町福祉健康センター



針葉樹の緑の3つで三段紅葉と呼んでいます。白馬の秋を代名する風景です。

白馬からのお便り
姉妹都市「白馬村」コーナー

三段紅葉

10月下旬に北アルプスの山々は雪化粧をし、見事な三段紅葉が見られました。この景色は10月下旬から11月上旬の間で冠雪になる、という条件が揃わないと見ることでできません。

三段紅葉にはさまざまな定義がありますが、白馬村では「冠雪の白・紅葉の赤と黄色・

住民基本台帳
(平成 29 年 10 月末日現在)
総人口 3,195 人
男 1,448 人
女 1,747 人
世帯数 1,630 世帯
(前月比: 総人口 5 人減
世帯数 4 世帯減)

**飼い犬・飼い猫のフンの後始末は
飼い主が責任を持って行いましょう。
また、飼い猫以外には餌を与えないでください。**

役場 住民福祉課

